

令和6年度 3年 年間指導計画

学年の重点項目		社会道徳上の諸問題に対する認識を深め、地域社会の一員としての自覚を持ち、伝統の継承と文化の創造を育みながら国際社会の一員として望まれる人について考える機会とする。			
月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	評価のポイント	他教科・特別活動 などとの関連
4月 ③	1 父のひと言 「責任を全うする」 【A 自主, 自律, 自由と責任】	1	父が筆者に発した言葉の意味を考えるを通して、責任をもつことの大切さを自覚し、自分の責任を全うしようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 責任をもつことの大切さについて、自分との関わりの中で考え、またそのことと様々な道徳的価値とのつながりについて考えを深めているか。 【授業の評価】 責任をもつことの大切さについて、様々な道徳的価値とのつながりの中で考えさせることができたか。	総合的な学習の時間 委員会活動
	2 僕は友達を裏切ったのか? 「真の友情」 【B 友情, 信頼】	1	個性の相違を超えた友情の尊さについて考え、よりよい友情を培っていくようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 真の友情を培っていくうえで自分に補っていかねばならないことを、自分なりに考えているか。 【授業の評価】 友情のすばらしさについて多面的・多角的に考えさせることができたか。	部活動
	3 歩きスマホをどうするか 「自制する心」 【A 節度, 節制】	1	スマホとのつき合い方を考えることにより、節度を守り、節制を心がけようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 歩きスマホの問題を、自分自身はどう解決できるのかを考えることにより、節度を守り、節制を心がけることの大切さについて考えを深めているか。 【授業の評価】 歩きスマホの問題を解決するために、多面的・多角的に解決方法を考え、節度や節制という視点から、自分自身の行動と重ね合わせて、考えを深めさせることができたか。	技術・家庭(技術分野)
5月 ③	4 平和への願い 「平和と共存」 【C 国際理解, 国際貢献】	1	参戦国相互の人々の立場から考え議論することを通して、平和と共存を実現していくために多様な他者と主体的に関わっていくようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 国際理解のためにとるべき態度について自分なりに考えているか、話し合いを通して考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 平和と共存についての話し合い活動を通して、自分と国際社会との関わりや、これからとるべき態度について考えを深めさせることができたか。	社会 (歴史的分野, 公民的分野) 学校行事 平和教育
	5 二通の手紙 「法やきまりの意義」 【C 遵法精神, 公徳心】	1	規律ある安定した社会の実現を旨とし、きまりや法の意義について深く考え、主体的に守ろうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 二通の手紙をもとに、きまりや法の意義について考えを深めているか、話し合いを通して考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 元さんの判断についての話し合い活動を通して、自分と社会との関わりや、これからとるべき態度について考えを深めさせることができたか。	社会(公民的分野) 生徒会活動 キャリア教育
	6 ハゲワシと少女 「かけがえない命」 【D 生命の尊さ】	1	写真が語る事実から、かけがえない生命を尊重しようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 かけがえない生命を大切にするにはどうしたらよいかを、自分自身と重ね合わせて考え、生命を尊重しようとする思いを深めているか。 【授業の評価】 少女を助ける行為も写真撮影の行為も、どちらも命を救おうとした行為であることを捉えさせ、どうすることが生命を尊重することになるのか多面的・多角的に考えさせ、生命を尊重しようとする思いを深めさせることができたか。	社会(地理的分野)
6月 ④	7 あなたは顔で差別をしますか 「互いの個性や立場の尊重」 【B 相互理解, 寛容】	1	藤井さんの体験について考えることを通して、それぞれの個性や立場を尊重し、寛容な心をもって相互に理解し、謙虚に他に学び、自らを高めていくようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 差別や偏見のない社会を築くために大切なことについて、自分なりに考えているか。 【授業の評価】 周りが藤井さんを理解するべきということだけではなく、藤井さん自身も周りを理解して自ら向上しようとしている点に気づかせることができたか。	社会(公民的分野)
	8 昇き縄 「地域社会の一員として」 【C 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度】	1	郷土の伝統や地域社会の一員としての自覚の大切さに気づき、郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 郷土や地域社会について、自分との関わりの中でその大切さについて考えているか。 【授業の評価】 郷土の伝統や地域社会の一員としての自覚の大切さについて、多面的・多角的に考えを深めさせることができたか。	総合的な学習の時間
	9 無限の道 「真理を求め続ける」 【A 真理の探究, 創造】	1	自らの信念や生き方について考え、真理を探究していくようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 歌舞伎道を探究し続ける「私」の生き方について共感的に考えることを通して、自らの「今」や「将来」において真理を探究していくようとする意欲を高めているか。 【授業の評価】 伝統芸能のすばらしさにも触れながら、歌舞伎に限らずどんな人生においても自ら探究していく「真理」があることに気づかせ考えさせることができたか。	
	10 変わりゆく地球 「地球とともに生きる」 【D 自然愛護】	1	私たちの暮らす地球の姿を知り、自然を愛護し、人間の力を越えたものに対する畏敬の念を深めようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 人間と自然との関わりの中から、人間の力を越えた自然との共存について考えを深め、自然を大切にしていこうとする意欲を高めているか。 【授業の評価】 人間の力を越えた自然を謙虚に受け止めさせ、自分との関わりの中で多面的・多角的に考える議論を通して、自然を大切にしていこうとする態度を育てられたか。	理科 社会(公民的分野) 環境教育
7月 ②	11 鳩が飛び立つ日～石井肇子～ 「よりよい社会の実現」 【C 社会参画, 公共の精神】	1	自分の行動が、世の中を变える活動の一端を担うことを意識し、積極的に社会に貢献しようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 自身の体験をふり返り、社会に参画することについて多面的・多角的に考え、深めているか。 【授業の評価】 社会に参画することや自身の進路について考えを深めさせることができたか。	社会(歴史的分野) 国語 ボランティア活動
	12 ニワトリ 「命のつながり」 【D 生命の尊さ】	1	人間以外の生命あるものに、生命の尊さを感じる心情を養う。	【生徒の評価】 命をいただくという飼育実習の作文をもとに、人間以外の動物にもかけがえない生命があるということについて、考えを深めているか。 【授業の評価】 主人公の心情の読み取りではなく自分の思いとして、トモノリの生命について多面的・多角的に考え、人間以外の生命あるものの生命の尊さへの思いを深めさせることができたか。	技術・家庭(家庭分野)
9月 ③	13 フットライト 「互いのよさを認め合う」 【B 友情, 信頼】	1	個性の相違を超えて相手のことを大切に思うことの尊さについて考え、よりよい人間関係や友情を培っていくようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 相手を理解し認め、大切にしようとする心情の大切さについて自分なりに考えているか。 【授業の評価】 友情と愛情で大切なことについて、多面的・多角的に考えさせることができたか。	学校行事 学級活動
	14 外国から見た日本人 「日本人のよさ」 【C 我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度】	1	日本人としての自覚をもって生きていこうとする実践意欲を高める。	【生徒の評価】 日本人のよさについて考え、どんなよさを生かして生きていくのかを、自分自身と重ね合わせて考えることで、日本人として胸を張って生きていこうという意欲を高めているか。 【授業の評価】 日本人のよさについて多面的・多角的に考えさせ、これから生きる日本人として、自分自身のよさを伸ばし、日本人としての自覚をもって生きていこうとする意欲を高めさせることができたか。	社会 (地理的分野, 公民的分野) 保健体育 防災教育
	15 卒業文集最後の二行 「いじめを許さない心」 【C 公正, 公平, 社会正義】	1	いじめの加害者が抱える自責の念や、被害者の気持ちについて考えることを通して、差別や偏見のない社会を実現していくようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 差別や偏見についての話し合い活動を通して、深く考え、それらを解消し、よりよい社会を実現していくようとする意欲を高めているか。 【授業の評価】 教材をもとに生徒の本音を引き出し、差別や偏見について深く考えさせ、いじめや差別のない社会の実現を旨とする態度を育てることができたか。	社会(公民的分野) 学級活動
10月	16 サルも人も愛した写真家 「自然との共存」 【D 自然愛護】	1	大自然のかけがえないなさに触れ、自然と人間、自己との関わりについて考えを深めることにより、自然との調和の中で生かされていることを自覚し、共存していくようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 「判断の基準」について自分なりに考えているか、話し合いを通して考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 教材中の人物の立場に立って考え、議論することで、自然との関わりやこれから人間としてとるべき態度について考えさせることができたか。	理科

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配 当 時 数	ねらい	評価のポイント	他教科・特別活動 などとの関連
10月	17 足袋の季節 「思いやりの心」 【B 思いやり, 感謝】	1	おばあさんの思いやりに感謝し、自分の弱さを見つめ、たくましく生きる「私」の生き方を考えることを通して、多くの人々の善意により今の自分があることに気づき、思いやりあふれる人間愛の精神を深めようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 多くの人々の善意により今の自分があることに気づき、思いやりの心をもって他者に関わろうとする意欲を高めているか。 【授業の評価】 思いやりについて考え、これまで関わってきた人々に対して感謝の気持ちを高め、思いやりの心をもって他者に関わろうとする人間愛の精神を深めることができたか。	
	18 ひび割れ壺 「自分らしく生きる」 【A 向上心, 個性の伸長】	1	自分の個性を生かして自分らしくよりよく生きるためには、どんなことが大切なのかを考え、実践しようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 短所を長所に言いかえる活動を通して、バランスのとれた自尊感情をもち、前向きに生きていこうとする意欲を高めているか。 【授業の評価】 ひび割れ壺の立場に立って考えることや友達との話し合いを通して、それぞれの個性を大切に、よりよく生きていこうとする態度を育てることができたか。	音楽 美術 係活動 学校行事
	19 死刑制度を考える 「よりよい社会と法」 【C 遵法精神, 公徳心】	1	法やまじりの意義を理解し、よりよいあり方について考え、規律ある社会の実現に努めようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 法やまじりの意義を考え、法のよりよいあり方について、自分自身の考えを深め、よりよい社会を実現しようとする思いを深めているか。 【授業の評価】 法のよりよいあり方について、法の意義という視点から多面的・多角的に考えさせ、自分自身の考えを深め、よりよい社会を実現しようとする思いを深めさせることができたか。	社会（公民的分野） 生徒会活動
11月	20 校長先生の模擬面接 「礼儀の意義」 【B 礼儀】	1	校長先生との模擬面接の場面から、時と場に応じた適切な言動について考え、形の根底にある礼儀の意義を理解し、主体的に関わっていこうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 礼儀にとって大切なことは何かについて自分なりに考えているか。 【授業の評価】 礼儀にとって大切なことは何かについて考え、議論することを通して、時と場に応じた適切な言動について考え、形の根底にある礼儀の意義を理解し、主体的に関わっていこうとする態度を育てることができたか。	キャリア教育
	21 カーテンの向こう 「気高い生き方」 【D よりよく生きる喜び】	1	人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、誇りある生き方をしようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 ヤコブが場所を譲らなかつた理由を知った時、「私」はその生き方をどのように捉え直したかを自分なりに考え、自分自身の価値ある生き方への思いを深めているか。 【授業の評価】 ヤコブの行動を多面的・多角的に考えさせることから、誇りある生き方について思いを深めさせることができたか。	学級活動
	22 ふきのとう 「勤労を通して社会に奉仕する」 【C 勤労】	1	勤労の尊さを理解し、自らの生きがいのある人生を探索するとともに、勤労を通して社会に奉仕する気持ちを深め、進んで社会の発展向上に努めようとする意欲を育てる。	【生徒の評価】 ふきのとうを見て「私」は何に気がついたのかを、自分なりに考えているか、話し合いを通して考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 「私」の立場に立って考え、意見を交換することを通して、社会人としてとるべき態度について考えさせることができたか。	ボランティア活動
12月	23 あふれる愛 「世界平和と人類の発展」 【C 国際理解, 国際貢献】	1	マザー＝テレサの生き方から、世界の平和と人類の発展のためにはどのような視点をもつことが大切なのかを考えると通して、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与していこうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 世界の平和と人類の発展のためにはどのような視点をもつことが大切なのか、自分ごととして多面的・多角的に考え、話し合うことを通して、考えを広げているか。 【授業の評価】 マザー＝テレサの生き方について話し合う活動を通して、世界の平和と人類の発展のためにはどのような視点をもつことが大切なのかについて考えを深め、実践していこうとする態度を育てることができたか。	社会（公民的分野）
	24 片足のアルペンスキーヤー・三澤拓 「目標に向かう強い意志」 【A 希望と勇気, 克己と強い意志】	1	目標を実現するために希望と勇気をもって実行するとともに、困難に屈せず粘り強くやり抜こうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 三澤さんが競技人生を続ける原動力となっているものについて自分なりに考えているか、話し合いを通して考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 教材中の人物の立場に立って考え、意見を交換することで、自分自身の生き方やあり方について、夢や目標の実現という視点で考えさせることができたか。	キャリア教育
	25 テーブルの卵焼き 「家族の絆」 【C 家族愛, 家庭生活の充実】	1	自分の成長を願い、愛情をもって育ててくれた父母や祖父母に対する敬愛の念を深め、家族を大切にしようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 自分と家族との関係を見つめ直し、家族の一員として自分にできることについて考えようとしているか。 【授業の評価】 家族の愛情や信頼関係について考え、家族の一員として自分がなすべきことについて考えさせることができたか。	技術・家庭（家庭分野）
1月	26 家族の思いと意思表示カード 「自他の生命の尊重」 【D 生命の尊さ】	1	かけがえのない自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 自分をとりまく家族の思いに想像をめぐらせ、自分の生命のかけがえのなさへの思いを深めているか。 【授業の評価】 自分と関わり深い家族の思いから、生命のかけがえのなさを多面的・多角的に考えさせ、自他の生命を尊重しようとする思いを深めさせることができたか。	社会（公民的分野）
	27 憧れの消防団 「社会連帯の精神」 【C 社会参画, 公共の精神】	1	「僕」と消防団との交流から社会参画、社会連帯、公共の精神について考え、話し合うことを通して、社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする意欲を育てる。	【生徒の評価】 ボランティア活動の意義や価値について自分なりに考えているか、話し合いを通して考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 「僕」と消防団との交流から社会参画、社会連帯、公共の精神について考え、話し合うことを通して、社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする意欲を育てることができたか。	社会（公民的分野） ボランティア活動 防災教育
	28 償い 「人間としての誇り」 【D よりよく生きる喜び】	1	人間には、弱さや醜さもあるが、それを克服し気高く生きようとする心があることを理解し、人間としてよりよく生きていこうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 人の弱さについて踏まえながらも、それを「克服し、生きる喜び」に目を向け、自らも強く気高く生きようとする意欲を高めているか。 【授業の評価】 教材をもとにした話し合い活動を通して、「人間の気高さ」について多面的・多角的な視野から考え、自らも実践していこうとする態度を育てることができたか。	社会（公民的分野） ボランティア活動
2月	29 旅立ちの日に 「集団の一員として」 【C よりよい学校生活, 集団生活の充実】	1	中学校生活最後の大切な行事である卒業式に臨む姿勢を考えさせることで、自分たちの学校を改めて見つめ直し、学校の一員として自分にできることは何かを考えようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 「卒業式が誰のために、なんのためにあるのか」について自分なりに考えているか、話し合いを通して考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 教材中の人物の立場に立って考え、議論することで、中学3年生として卒業式にどのように臨むべきかについて考えさせることができたか。	音楽 学校行事
	30 もう一つの時間 「自然と自己との関わり」 【D 感動, 畏敬の念】	1	人間の力を超えたものに対して美しさや気高さを感じ、自然の中で生かされていることを自覚して、自己のあり方・生き方を深めていこうとする心情を育てる。	【生徒の評価】 「僕」のメッセージを受け止めたくらうで、2枚の写真にタイトルをつけ、話し合いを通して、考えを広げているか。 【授業の評価】 「僕」の視点に立って考えることや友達との話し合いを通して、人間の力を超えたものに対する美しさや気高さ気づかせることができたか。	国語
	31 それでも僕は橋を渡る 「偏見や差別をなくす」 【C 公正, 公平, 社会正義】	1	身のまわりにある偏見や差別を認識し、議論することを通して、それらを克服するために積極的に取り組もうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 「僕」の決意の強さを受け止め、話し合いを通して、偏見や差別をなくすための鍵について、自分のこととして考えているか。 【授業の評価】 「他の人をよく知ろうとする姿勢」「他の人の気持ちを思いやる想像力」が、自分にも求められていることを考えさせることができたか。	社会（公民的分野）
3月	32 音楽は対話の始まり 「社会に貢献する」 【C 社会参画, 公共の精神】	1	五嶋みどりさんの、幅広く国際社会に貢献している姿について考えることを通して、進んで社会と関わり積極的な生き方をしようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 幅広い社会貢献活動を行うみどりさんを遠い存在とはせず、自分は何ができるのかについて話し合い、考えを深めているか。 【授業の評価】 「今自分ができること」「これからできるようにしたいこと」について話し合わせることで、社会に参画し貢献していこうとする意欲をもたせることができたか。	ボランティア活動
	33 琵琶湖の水を京都に送る～郷土の復興に尽くした北垣国道と田辺朝郎～ 「郷土の先人への尊敬と感謝」 【C 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度】	1	郷土の発展に尽くした先人への尊敬と感謝の念を深め、自己を見つめ郷土に対して主体的に関わろうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 「郷土の発展」について自分なりに考えているか、話し合いを通して考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 郷土の復興に尽くした先人の思いについて考え、話し合うことを通して、先人への尊敬と感謝の念を深め、郷土に対して主体的に関わろうとする態度を育てることができたか。	社会（歴史的分野） 総合的な学習の時間
3月	34 世界に誇る「BONSAI」 「日本の伝統・文化の継承」 【C 我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度】	1	我が国の伝統や文化について理解を深め、それを継承していくことの重要性に気づき、自国の文化を尊重しようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 興味をもって教材に向かい、日本の伝統や文化のよさについて自分なりに考えているか。 【授業の評価】 盆栽の他にも多くの魅力が日本にはあることを認識させ、それらを大切に守っていこうとする気持ちを育むことができたか。	美術 音楽 学校行事
	35 カムイモシリとアイヌモシリ 「自然への畏敬」 【D 感動, 畏敬の念】	1	アイヌの人たちの自然との関わり方について考え、議論することを通して、自然への畏敬の念をもちながら自然と共存していこうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 自然と人間の関係や自然と共に生きるための態度について自分なりに考えているか、話し合いを通して考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 自然と人間の関係についての話し合い活動を通して、自然と共に生きるためにこれからとるべき態度について考えを深めさせることができたか。	理科 社会（歴史的分野）